

## 第 19 回猪名川部会（2003.9.2 開催）結果報告

2003.9.4 庶務発信

開催日時：2003 年 9 月 2 日（火） 16：00～20：00

場 所：大阪会館 A ホール

参加者数：委員 8 名、河川管理者 10 名、一般傍聴者 88 名

### 1 決定事項

- ・本日の議論および委員からの意見を参考に、田中リーダーが猪名川部会とりまとめ（案）を修正し、9/5 の第 24 回委員会に提出する。
- ・9/5 の第 24 回委員会以降に部会を開催する。日程については後日調整する。

### 2 審議の概要

#### 委員会、他部会の状況報告

資料 1「委員会および各部会の状況（提言とりまとめ以降）」をもとに、提言とりまとめ以降の委員会、部会等の開催状況が説明された。

#### 部会意見とりまとめに向けた意見交換

資料 2-1「猪名川部会とりまとめ(案)について」を用いて、部会意見とりまとめのリーダーである田中委員から「本日少なくとも大きな方向性について部会の同意を得たい」との説明がされた後、意見交換が行われた。

#### <主な意見>

- ・既往最大規模の降雨を目標とし、これによる浸水被害を解消しようとするのは金銭的、技術的に無理がある。狭窄部上流地域の目標規模をもう一度精査するよう意見する。
- ・狭窄部の開削については「現状では開削の可能性を書くべきではない」「少しの開削で大きく浸水被害が改善するなら特例もあり得るのでは」など意見が分かれたが、下流の対策が完了してから狭窄部の開削を検討することが確認された。
- ・余野川ダムの見直しの検討の方法および社会的合意については、住民意見を聴き、これを極力尊重する手順を明記すべき。
- ・河川の縦横方向の回復等の個別施策について、例えば環境の再生が比較的容易である等その場所で実施することの根拠を明記すべき。
- ・利用については、高水敷の利用率が高いことが猪名川流域の特殊性であるので「これ以上の人工的な使い方は認めるべきでない」と明言する。 など

#### 一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者 5 名から「一庫ダムの利水容量振り替えは法的に容易にできることなのか」「余野川ダムの資金は最優先事項である堤防強化に回すべき」「委員は下流の堤防の強化にかかる年数や費用を知った上で狭窄部の開削について議論しているのか」「阪神水道企業団が余野川ダムから撤退したことを国土交通省は本当に聞いていないのか。そうなら事実を確認するよう委員会から要請すべき」「余野川ダムの利水振り替え案についての意見が参考資料 1 の p390-1 に掲載されているので参照してほしい」などの発言があった。

以上

このお知らせは委員の皆様にご会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」、詳細については「議事録」を参照下さい。